

令和3年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和3年8月30日(月曜日)

○日時 令和3年8月30日 午後1時00分開会

総務議事係主査 寺尾昌樹

○場所 議場

○議件

1. 網走市立学校における遊具緊急点検結果について

午後1時00開会

○松浦敏司委員長 暑い中、御参集御苦労さまです。

ただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

開会しますが、今日は暑いので上着を脱ぐ方は脱いで結構です。

本日の委員会ですが、網走市立学校における遊具緊急点検結果について説明を受けます。

それでは、学校教育部より説明を求めます。

○小松広典学校教育課長 それでは、資料1をご願います。

網走市立学校における遊具緊急点検結果について御説明いたします。

市内公園において、遊具利用時の事故が発生したことを受けまして、網走市立学校における遊具の緊急点検を行いました。

緊急点検の内容につきましては、学校の遊具において、基礎が露出している箇所の緊急点検を実施したもので、併せて都市管理課と同様に国土交通省の指針(改定第2版)平成26年に基づき、一般社団法人日本公園施設業協会策定の「遊具の安全に関する基準」により、衣服やかばんの絡まり、引っかかり、頭部や胴体の挟み込み等の安全対策が必要な箇所についても点検を実施しました。

現在存在する遊具は、小学校9校で81基となります。

緊急点検結果につきましては、基礎が露出しているものと、安全対策が必要な遊具は小学校9校で68基となります。

対応につきましては、基礎が露出している遊具については、緊急的に遊具の基礎部分の土盛り対策を、小学校6校で15基の遊具に対して学校用務員が実施済みです。

今後の対応につきましては、緊急点検結果に基づき、66基の安全対策の必要がある遊具の撤去と補修を行うため、令和3年度一般会計補正予算案を第3回定例会に提案予定でございます。

68基と66基の2基の差の部分につきましては、68

○出席委員(7名)

委員長	松浦敏司
副委員長	近藤憲治
委員	石垣直樹
	金兵智則
	川原田英世
	工藤英治
	澤谷淳子

○欠席委員(0名)

○議長 井戸達也

○委員外議員(0名)

○傍聴議員(6名)

小田部 照
永本 浩子
平賀 貴幸
古田 純也
村椿 敏章
山田 庫司郎

○説明者

副市長	後藤利博
教育委員会教育長	岩永雅浩
学校教育部長	田口徹
学校教育部次長	小路谷勝巳
学校教育課長	小松広典
学校教育部参事	高橋善彦

○事務局職員

事務局長	林幸一
次長	石井公晶
総務議事係長	法師人絵理

基のうち一度の露出と安全対策が必要な遊具で、重複している遊具がございますけれども、うち2基は基礎の露出のみが課題でありまして、これは解消されたため2基が減ることとなります。

今後の点検につきましては、引き続き学校職員により日常の遊具の点検を行うものでございます。

説明は以上です。

○松浦敏司委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ありませんか。

○澤谷淳子委員 すみません、最後のところの引き続き学校職員により日常の遊具の点検を行うということなのですが、これは具体的に毎日何時頃とか、学校の先生が日替わりとか、何か決まっているのでしょうか。

○小松広典学校教育課長 学校の校内の安全のためにですね、日常の点検、用務員が点検しているものでございます。

○澤谷淳子委員 用務員さんが行うということなのですね。

わかりました、ありがとうございます。

○松浦敏司委員長 ほかにありませんか。

○川原田英世委員 市内の公園において、事故が発生したことを受けてということなのですが、この学校のですね、遊具で過去近々でも何か子供がけがをしたとか、そういった事故があったとか、そういったことはあったのでしょうか。

○小松広典学校教育課長 過去5年間のですね、学校でけががあった場合、医療費の給付で日本スポーツ振興センターというところで申請を行って、給付を行っているのですけれども、その中で遊具に関わっては12件ございました。

その内容なのですけれども、鉄棒で勢いをつけ過ぎて体をぶついたり、擦ったりだとかというような擦過傷ですとか、それから雲梯から手が滑って落ちたときに捻挫をしたりですとか、あとブランコで鎖から手が離れて落下してしまったようなケースでございまして、遊具そのものの安全性が原因というものはなかったものでございます。

○川原田英世委員 わかりました。

僕の子供の頃は、結構過激な遊具がたくさんあって、僕もよくけがをした記憶がありますし、頭の骨を折ったりとかをした友達もいましたし、そういった遊具がきれいに今はもうなくなって、あまり危ない遊具も減ってきたのかなというふうに思いますけれども、今聞いている範囲ではそういった遊具

のせいだけがをするということはあまりないのかなというふうに思いますので、理解をしました。

補正予算で出てくるということなので、そのときに、今後の方針だとか伺っていきたいというふうに思っていますけれども、今緊急的に対策を実施したところの中で、直した遊具はもう今使えるようになっているということなのでしょう。

○小松広典学校教育課長 その点検した、今、安全対策が必要な68基のうちですね、2基につきましては基礎部分の土盛りにより解消しておりまして、そのほかにですね、その内容としましては撤去が9基、それから頭部や胴体の挟み込みなどの対応が必要なものが11基、それから例えば六角ボルト、角がちょっと出ているような遊具の接続部分とかのその金具ボルトが六角のままとかっていうものが多数ございまして、そちらのほうの分類は46ということで押さえておりまして、その部分につきましてはそのまま利用していただくということで、あとは問題なしという先ほどの基礎部分の改修をした2基を含めて、問題なしの遊具は15基でございまして、その中で撤去とそれから頭部や胴体の挟み込みなどに関わる部分については、今利用停止をかけている状況でございます。

○川原田英世委員 わかりました。

これも補正予算にかかってくるので、質問はもうしませんが、撤去されてどんどん公園が寂しくなるというのもどうなのかなというふうにも思う一方、子供たちの遊ぶ場所ですので、1日も早くいい状態で修繕されていくように、ぜひ努力をお願いしたいと思います。

以上です。

○松浦敏司委員長 ほかにありませんか。

○近藤憲治委員 今御説明いただいた部分で、1点だけ明らかにさせていただきたいのですが、これまでもこの学校の遊具類については点検をなされていたのだけれども、この基準等に沿った点検ではなくてこういった不備が見過ごされたのか、それとも点検という作業そのものが、学校運営のプロセスの中に全くなかったのか、どちらなのかを明らかにしていただきたいと思います。

○小松広典学校教育課長 教育委員会のほうではですね、平成27年度にですね、簡易的な遊具全般に係る簡易的な点検を行いまして、28、29年に老朽化など撤去が必要なものと、補修を行っていたところなのですけれども、今回都市管理課と同じ基準

で点検を行った結果により、補修などの必要性が生じたということでございます。

○近藤憲治委員 今の答弁からすると、28、29年度に行った簡易的な点検というのは、この国土交通省の指針だとか、業界団体の基準とは全く異なるいわゆる簡易的なもので行っていたということによろしかったですか。

○小松広典学校教育課長 簡易点検という視点ですので、まるきり全て同じという視点ではなかったということでございます。

○近藤憲治委員 前段の総務経済委員会の質疑に関わっている部分なのですけれども、簡易的な点検でいいというふうに判断した理由、つまり業界にも基準があり、国土交通省にも指針があるのだけれども、それは適用せずに簡易的な点検にした理由がもしあれば、そこを明らかにしていただきたいし、ちょっと今後修正が必要な部分かなと思うのですけれども、いかがですか。

○小松広典学校教育課長 簡易点検の中にも基準がございまして、判定の仕方が違うというところがありまして、その中でも危険なものについては撤去、それから必要な補修を行っていたところでございます。

○近藤憲治委員 ちょっと改めてのお伺いになっちゃうのですが、簡易点検は、じゃあそういった国土交通省の指針だとか、業界団体による基準に盛り込まれている要素も入った簡易点検だったというニュアンスの答弁ですか。

○松浦敏司委員長 休憩しますか。
暫時休憩します。

午後1時12分休憩

午後1時17分再開

○松浦敏司委員長 再開いたします。
近藤委員の質疑に対する答弁から。

○小松広典学校教育課長 平成27年に行いました簡易点検につきましては、経年劣化していく部分に関して点検を行ったものでございます。

○近藤憲治委員 簡易的な点検では、そのような視点で行ったということで認識しました。

ただ今後は、今回の緊急点検で国土交通省の指針ですとか、業界団体の基準というものが重要であるということがわかったわけですから、学校職員の皆さんによる日常の点検もこういった基準類の視点に沿って行われるという捉え方でよろしいですか。

○小松広典学校教育課長 今後につきましては、学

校の点検を用務員が実施しておりますけれども、チェックポイントなどを含めて再度確認しまして、日常の点検を実施したいというふうに考えております。

○松浦敏司委員長 ほかにありませんか。

○金兵智則委員 すみません、1点だけ。

日常点検以外で業者さんが入ってやるような点検ってというのは、どんなスタンスで、どれくらいの周期で、どんな感じでやるとかっていうのはあるのですか。

○小松広典学校教育課長 専門業者がですね、実施した点検というのは平成27年が最後でございます。

その後、基準等に沿って点検をしていくということで、今後につきましては今ある基準によって点検をしていきたいというふうに考えております。

○金兵智則委員 基準に沿って学校職員、用務員さんが点検をしていくので、専門業者さんとかを何年に1回とかっていうことも考えていないということなのですか。

そうしたら、これ何かあったら用務員さんの責任になるということなのですかね。

○小松広典学校教育課長 日常点検については、用務員が実施しますけれども、基準が変わったりとかした場合につきましては、専門業者等に点検していただくような形になることになると思います。

専門業者が必要な修繕等を行う場合につきましては、そういう形で発注を別途、その専門業者に修繕等を依頼していくような形で考えております。

○金兵智則委員 じゃあ、これまでも何年周期とかっていう定期的なものではなくて、何かが行われるときにだけ専門業者を呼んでいたのでしたっけ。

定期的に何かあったような気もしないでもないような記憶だったのですけれども、これまでもそのスタンスなのですかね。

○小松広典学校教育課長 日常の点検につきましては、用務員が実施しているわけですが、安全衛生委員会で職場の安全、それからいろんな危険箇所の点検というのを行いますけれども、安全衛生委員会のほうが近年ですね、開催された実績がないものですから、空いているっていうような、期間が空いたというような状況でございます。

○金兵智則委員 今回たまたまほかの市内の公園ということで、このような流れになっているとは思いますが、せめて3年やら5年に1回はっていうのが、あってもいいのではないのかと思うの

ですけれども、いかがですか。

○小松広典学校教育課長 安全管理の在り方についてですね、この先どのような形がいいのかということで検討してまいりたいと思います。

○松浦敏司委員長 ほかにありませんか。

いいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、この件についてはこの程度にして、次に移りたいと思いますが、これで文教民生委員会は閉会したいと思います、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは閉会いたします。

午後 1 時 22 分閉会
